

平成 29 年 8 月 1 日

## 滋賀県内経済情勢報告

(平成 29 年 7 月判断)

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」(3期連続)

項目	前回 (29 年 4 月判断)	今回 (29 年 7 月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

(注) 29 年 7 月判断は、前回 4 月判断以降、足もと (7 月末) の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているほか、生産活動は持ち直しつつあり、雇用情勢は改善している。

【主な項目の判断】

項目	前回 (29 年 4 月判断)	今回 (29 年 7 月判断)	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	28 年度は前年度を上回る見込みとなっている	29 年度は前年度を下回る計画となっている	↘
企業収益	28 年度は増益見込みとなっている	29 年度は増益見通しとなっている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売額は、衣料品や高額品等が引き続き低調なことから、全体では前年を下回っている。

乗用車の新車登録届出台数は、軽自動車为好調となっているほか、ハイブリッド車などが堅調なことから、全体では前年を上回っている。

コンビニエンスストア販売額は、カウンター商品が堅調なことなどから、前年を上回っている。

#### (主なヒアリング結果)

- 食料品は前年並みと堅調であるが、衣料品や住居関連品が減少している傾向は変わらない。(スーパー・大企業)
- 衣料品は全国的なアパレル業界の低迷などの影響から特に婦人服の売上が低調。(百貨店・大企業)
- 足もとでの販売台数は計画通り推移しており、特に6月は新型車が出たことから好調。(自動車販売店・中小企業)
- 5月に気温が急上昇したことからアイスコーヒーなどの飲料関係が好調であったほか、カウンター商品も引き続き堅調に推移。(コンビニエンスストア・大企業)
- 足もとの客数は前年を下回ったものの、3月に引き続き引越し需要に伴う白物家電の売れ行きが良く、客単価の伸びが売上の増加に寄与。(家電量販店・大企業)

#### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業指数(生産)で見ると、化粧品等の需要増から化学が上昇しているほか、軽自動車を中心に好調な自動車需要から輸送用機械が上昇しているなど、全体では持ち直しつつある。

- 足もとでの化粧品の生産量は計画比2割増となっており、生産設備はフル稼働状態。(化学・大企業)
- 足もとでは軽自動車の需要が回復していることから、生産状況としてはフル稼働で対応しており、人手不足から生産が追いついていない状況。(輸送用機械・大企業)
- 国内需要としては、自動車向け部品を中心に好調なことから、生産状況も前年比で1割程度増加している。海外需要に関しても、自動車や家電向けなどが好調なほか光通信関連の受注が好調。(電気機械・中堅企業)
- 今夏が猛暑予測であることなどから、エアコン向けの電子部品の受注が好調。(電気機械・中小企業)

#### ■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は8か月連続で1.2倍台の水準となっている。新規求人数は製造業やサービス業などを中心に前年を上回っており、完全失業率も低水準となっているなど、雇用情勢は改善している。

- 機械化の進展に合わせ従業員を減らしてきたが、足もとでは人手が不足しており、中途採用者の求人募集を出しているが、ここ数年は求職者の反応が鈍い。(化学・中小企業)
- 現場での作業員の不足感が強く、年齢別では若年層が不足しており、現場の高齢化が進んでいる。(建設・中堅企業)
- アルバイトが確保できないことから、郊外店では営業時間の短縮や定休日を設けるなどして対応している。また、人材派遣も使って店舗スタッフを確保していることから、人件費の上昇要因となっており、店舗営業にも弊害が生じている。(飲食サービス・中堅企業)
- 51か月連続で有効求職者数が減少しているが、失業者等の雇用がある程度、確保されてきていることのほか、非正規社員として雇用した者を正社員化して囲い込む企業が増えていることなどが影響している。(官公庁)

- **設備投資** 「29年度は前年度を下回る計画となっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」29年4-6月期
  - 製造業では、化学などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る計画となっている。
  - 非製造業では、小売などが前年度を下回っていることから、全体では前年度を下回る計画となっている。

- |                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| ➢ 生産能力増強のため、例年以上に新規設備を導入する計画。         | (化学・大企業) |
| ➢ 前年度に本社の建替えが完了したことなどから、今年度は反動減となる計画。 | (小売・大企業) |

- **企業収益** 「29年度は増益見通しとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」29年4-6月期
  - 製造業では、はん用機械などが増益となることから、全体では増益見通しとなっている。
  - 非製造業では、小売などが増益となることから、全体では増益見通しとなっている。

#### 【その他の項目】

- **住宅建設** 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数で見ると、貸家で減少しているものの、分譲住宅などが増加していることから、全体では前年を上回っている。
- **公共事業** 「前年を大幅に上回っている」

前払金保証請負金額で見ると、県などで減少しているものの、市町などが大幅に増加していることから、全体では前年を大幅に上回っている。
- **企業の景況感** 「上昇」と「下降」が均衡している (全産業)「法人企業景気予測調査」29年4-6月期

企業の景況判断BSIで見ると、現状判断は「上昇」と「下降」が均衡している。先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。
- **企業倒産** 「件数は前年を上回っているが、負債金額は前年を下回っている」

件数は前年を上回っているが、負債金額は前年を下回っている。

お問合せ先：大津財務事務所 財務課 TEL077-522-6455

財 務 省